

素敵な教職員の皆さんに、ONとOFFのスマートスタイルについてお聞きしていきます。

# リレーでつなぐ ワーク・ライフ・バランス

work life balance

vol.17

「ワーク・ライフ・バランス」って、結局何だろう。  
今年父親になったばかりの私にとって、「ワーク・ライフ・バランス」はまだよく分からない言葉、実感のわかない言葉です。ワークもやって、ライフも楽しんで、能力を高めて自分が望む人生を！なんて、そんなの無理無理。簡単にはできません。第一、そこまで器用ではないし、結果はどれも中途半端。どれくらいの方にご迷惑をおかけしたか、本当にお恥ずかしい限りです。

10年前、私はジェンダーを研究する部署ではじめて大学に職を得ました。「男女共同参画推進」という言葉が本格的に使われ始めた頃だったと思います。「ダイバーシティ」も「リケジョ」も「イクメン」という言葉もない頃、ジェンダーの壁を崩すには、女性研究者を増やすには、そうやって皆で研究に精を出し、会合を催し、たくさんの人とたくさん話して話し合いました。「gender based violence」も「デートDV」も「ガラスの天井」も、この仕事で知りました。ジェンダーについてはもちろん、家族に対する考え方も性指向も多様で結構、大らかな雰囲気の中でジェンダーをめぐる社会的問題をつきとめ、解決の方法を考えることができました。同僚はどの人もかっこよかった。そしてパワフルでした。今の自分が少しでもジェンダー・センシティブであるなら、それはこの経験のおかげです。

ですが、その時からなんとなくひっかかっていたこともあり。それは、考え方と、実際の暮らしとの、何とも言えないずれです。誤解を恐れずに言うならば、男女共同参画というのは政策用語です。つまり日々の暮らし以上に役所の仕事として最初に作られ、それが日々の暮らしに浸透してゆくことを、何となく念頭に置かれて創られたものといっいでしょ。もちろん、政策は日々の暮らしと様々な声をすくい上げ、それを形にして社会に投げ返すことが仕事です。だから基本的に間違っていないはず。にもかかわらず、なぜか普段の暮らしと密着していないように

人間発達科学部 准教授  
池田 丈佑

福井生まれ、福井育ち。2006年に東北大学ジェンダー法・政策研究センター研究員。2008年大阪大学より博士(国際公共政策)取得。2011年から2014年まではインドの私立大学で国際関係論の准教授を務める。2014年より人間発達科学部准教授。



ON style

思われるのです。そして私は天の邪鬼なので、「ワーク・ライフ・バランス」に対しても、同じにおいをかぎ取ってしまうのです。昨年、「保育園落ちた日本死ね」という言葉が流行語大賞にランクインされました。この言葉自体はもともと待機児童の問題からきたものですが、その過激な物言いの後ろには、ワーク・ライフ・バランスという言葉ですくい上げられない、具体的なワークやライフの重さがあるように思います。ワーク・ライフ・バランスは分かった。じゃあそれで自分の子を保育園に入れてくれるのか。親の面倒をみることを手伝ってくれるのか。論文一本書けるのか。確かにそれは自分でやるはずのこと。ただ、そう考えるなら、ワークもライフもあなた次第、で結局丸投げされているように思われるのです。もし、ワーク・ライフ・バランスという言葉がまだ実感を持って根付いていないとするなら、丸投げされて戸惑っている人たちに具体的方向を示し、そこに行くには元気が続かない人たちに間違いなく元気を補給していないからかもしれません。皆さんはどうお考えになりますか。

この間、仲良くさせてもらっているご家族から『ヨチヨチ父』という絵本を頂きました(余談ですが、これオススメです)。当たり前なのですが、子どもの面倒をみるのも、親の面倒をみるのも、どちらもみんな一年生、というかヨチヨチなんですよ。熱を出したとってオロオロ、頭をぶつけたとってアタフタ、戻したとってソワソワ。それがこれからも続くでしょう。そしてそれを通して、生きていくのがどういことなのか、また教えてもらえるのだと思います。それがワーク・ライフ・バランスにどうつながるのかは、まだ分かりません。



OFF style

趣味は旅です。



富山大学男女共同参画推進室

# News Letter

Office for gender equality, University of Toyama

## TOPICS

- 最新ニュース ■ 新委員紹介 ■ お知らせ
- 活動報告 ■ スポットライト ■ 今注目のことば
- リレーでつなぐワーク・ライフ・バランス
- 数字で見る富山大学のいろいろ

2017.9  
第17号



「愛、思いやり」です  
チューリップの花言葉は

## 富山大学学長賞「未知に挑む女性研究者賞」創設

本学に在籍する女性研究者の優れた研究と高い将来性を讃えるために、平成29年度より富山大学学長賞「未知に挑む女性研究者賞」を創設いたしました。

本賞は、人文・社会科学ならびに自然科学の各分野において優れた研究成果を挙げ、将来的に国内外で当該研究分野を牽引していく高いリーダーシップが期待される女性研究者を顕彰することにより、女性研究者の研究意欲の向上、本学、ひいては我が国の学術研究の将来に資する人材の育成等を目指すものです。

「女性研究者部門」と「女子学生部門」の2部門を公募し、審査を経て、平成29年10月20日(金)開催予定の「ダイバーシティ研究環境実現シンポジウム」において表彰式と受賞記念講演を行います。



## 新委員紹介

### 男女共同参画推進委員会 新委員紹介

平成29年4月1日より、本学の男女共同参画を強化するため、鈴木基史理事が男女共同参画推進委員会委員長に就任しました。

また、任期満了に伴い、新年度から新たに7名の委員を迎えました。本学の男女共同参画推進のために活動いたしますので、ご協力のほどよろしくお願い致します。

### 新しいワーキンググループ(WG)紹介

「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」事業を発展させるため、今年度は平成28年度のWGを拡充し、新たに「自己点検評価WG」が創設されました。男女共同参画推進委員会の全委員がいずれかのWGに所属し、本事業の推進に取り組んでまいります。

#### ワーキンググループ(WG)一覧

- ①自己点検評価
- ②学内公募関連
- ③啓発イベント
- ④ロールモデル集
- ⑤ニュースレター
- ⑥数値管理
- ⑦アンケート
- ⑧学童保育

#### 男女共同参画推進委員会 新委員

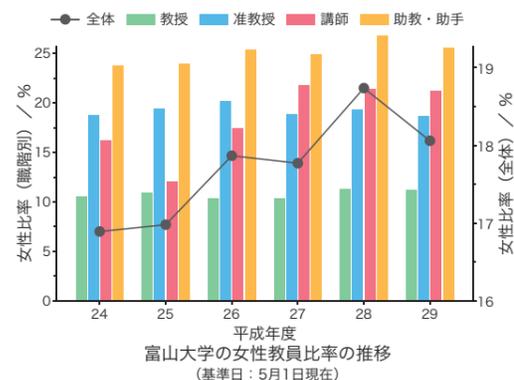
- 理事(男女共同参画担当) ・ 男女共同参画推進委員会委員長 鈴木 基史  
人文学部 福家 崇洋  
人間発達科学部 池田 丈佑  
経済学部 坂田 博美  
大学院理工学研究部(工学) 源明 誠  
芸術文化学部 島添貴美子  
医薬系事務部医薬系総務課 池田 裕計  
芸術文化学部総務課 北角美智子



## 数字で見える富山大学のいろいろ

### 富山大学の女性教員比率の推移

右のグラフは、平成24年度から平成29年度までの富山大学女性教員比率の推移を、職階および全体で表したものです。前年度比でみると減少項目もあるものの、過去5年間の推移として、講師、助教・助手、全体は上昇傾向にあるといえます。教授・准教授が横ばいであるものの、講師の上昇率が顕著であることから、今後の上位職階における女性教員の活躍が大いに期待されます。また、(一社)国立大学協会による「国立大学における男女共同参画推進の実施に関する第13回追跡調査報告書(平成28年10月21日)」で、前年度より女性教員比率が1%以上増加した25大学の中に本学が含まれていること、女性教員比率ランキングが86大学中29位であることが報告されています。



発行  
富山大学男女共同参画推進室  
〒930-8555 富山市五福3190  
E-mail smart@ctg.u-toyama.ac.jp  
TEL 076-445-6146  
URL <http://www.diversity-u-toyama.jp>



リサイクル適性(A)  
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

## 編集後記

気が付けば9月も下旬、来月には後学期がスタートします。今回は、4名の新委員をお迎えし和気藹々と編集に取り組みました。17号はページ数が増えるとともに、委員の発案で新たに特集記事コーナーができました。読者の皆様に、何か新しい発見をお届けできたら編集委員一同大変嬉しく思います。次回は1月に発行予定です。

富山大学男女共同参画推進室News Letter編集メンバー  
南村 有輝子 福家 崇洋 池田 丈佑 源明 誠 北角 美智子 高野 直子  
竹岡 美樹 甲斐田 直 小川 友美

ダイバーシティ研究環境実現シンポジウム

富山大学における  
—女性研究者人材育成の挑戦—〈中間報告〉

日 時：平成29年10月20日(金) 13:30~16:30  
会 場：五福キャンパス 黒田講堂ホール  
対 象：本学教職員・学生、一般 【入場無料 申込不要】

本学における「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」事業は、3年目の中間評価の年を迎えました。今後、如何に事業を発展させ、目標を達成するのかについて示唆を得るため、九州大学教授の橋木晶子氏、東京工業大学特任教授の林ゆう子氏、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)プログラム・オフィサーの山村康子氏を講師にお招きし、シンポジウムを実施いたします。また、外部評価委員会委員を代表して金沢大学学長補佐の池本良子氏から外部評価の結果について講演をいただきます。第2部では、富山大学学長賞「未知に挑む女性研究者賞」の表彰式と受賞記念講演、並びに本学女性研究者のパネル贈呈式を行う予定です。本シンポジウムを通じて、事業の進捗を共有するとともに、目標達成及び大学の活性化に向けて、課題解決のための議論を深める機会といたします。

介護相談を開始しました

男女共同参画推進室では、富山市の神明・五福地域包括支援センターと連携した介護相談を受付けています。対象は、本学の教職員、学生です。介護相談を希望される方は、男女共同参画推進室が窓口となり、地域包括支援センターに所属するケアマネジャーが随時相談にのります。「初めての介護をどのように始めればよいか」、「遠距離介護」など、介護にまつわる様々なご相談を受付けます。詳しくは、以下のホームページからご確認ください。



富山大学  
ダイバーシティ研究環境実現  
イニシアティブ(特色型)  
ホームページ  
URL: <http://www.diversity-u-toyama.jp/>



育児・介護休業法改正

平成29年10月1日から、以下のとおり改正育児・介護休業法が施行されます。

- 改正内容1. 育児休業期間の延長 (保育所に入れない場合など、最長2歳まで育児休業が取得可能に)
- 改正内容2. 育児休業等制度の個別周知 (子どもが生まれる予定の方などに育児休業等の制度などをお知らせ)
- 改正内容3. 育児目的休暇の新設 (育児目的休暇の導入促進)

介護・福祉関連図書の貸出を実施

男女共同参画推進室が所有する介護・福祉関連の図書108冊の貸出を行いました。



期 間：平成29年3月8日(水)~平成29年4月30日(日)  
場 所：杉谷キャンパス 医薬学図書館  
2階展示コーナー

活動報告

サンフォルテ フェスティバル2017に参加しました

期 間：平成29年6月24日(土)~6月30日(金)  
会 場：富山県民共生センター サンフォルテ 2階

「Frontiers, Dreams, and Challenges 未知に挑む女性研究者たち in 富山大学」と題し、第一線で活躍する本学の女性研究者の研究内容をイメージしたパネルの展示と、女性研究者比率についてのクイズを出題しました。



平成29年度 男女共同参画チーフ・オフィサー (CGEO= Chief Gender Equality Officer)を  
設置し「男女共同参画推進事業所」認証が  
継続されました

富山県では、チーフ・オフィサーを核に、女性の活躍推進や仕事と家庭の両立支援などの取り組みや成果が認められる事業所を「男女共同参画推進事業所」として認証しています。本学は、これまでの取り組みが評価され、平成25年度から継続して認証を受けています。

煌めく女性リーダー塾第5期に  
参加しています

富山県が主催する「煌めく女性リーダー塾」とは、県内企業等における女性の活躍を一層推進するため、リーダーをめざす女性社員の相互交流と自己研鑽を図るために、企画・開講されました。今年度、本学からは第5期生として、医薬系事務部 調達課 係長の申田純恵さんを推薦しました。塾生の皆さんは7月から12月にかけて講演会や勉強会、ワークショップ等に参加される予定で、今後さらなる活躍が期待されます。



文部科学省科学技術人材育成費補助事業  
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」  
平成29年度学内公募・採択結果

男女共同参画推進室とは別の審査会による厳正なる審査を経て、下記のように採択を決定しました。

- ① 女性研究者の短期留学助成金:7件 (アメリカ4件、イギリス1件、オランダ1件、イタリア1件)
- ②-1 女性研究者による国際シンポジウム企画・開催助成金:3件  
・「FUTURE EARTH 海の大河から見えてくる環日本海のこれまで、これから」(大学院理工学研究部(理学))  
・「伝統薬物の科学研究国際シンポジウム」(和漢医薬学総合研究所)  
・「グローバル時代における外国語教育の未来を考える Part II:自己評価と自律学習」(国際交流センター)
- ②-2 女性研究者による国際シンポジウム成果公開費助成金:1件
- ③ ライフイベント復帰者へのスタートアップ支援:1件
- ④ ライフイベント中の女性研究者への研究サポーター制度:5件
- ⑤ 時間外・休日保育及び病児・病後児保育利用料補助制度:6件

国際シンポジウム

「FUTURE EARTH 海の大河から見えてくる環日本海のこれまで、これから」

文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」の一環として、学内公募「女性研究者による国際シンポジウム企画・開催助成金」に採択された大学院理工学研究部(理学)の張勁先生により、環日本海地域の環境保全に関するシンポジウムを開催しました。日本海は温暖化の影響が顕著なことから世界的な研究の舞台として注目を集めており、富山大学では「高低差4,000m富山環境」プロジェクトを立上げ、十数年にわたる研究と教育でリードしてきました。今回のシンポジウムでは、ロシア・韓国・中国・日本から環境学、法学、人文社会科学の研究者、里山を資源に活動する農業実践者がパネリストとなり、環日本海地域や富山の環境保全の現状について報告しました。



日 時：平成29年5月12日(金) 13:00~  
会 場：五福キャンパス 理学部 2階  
多目的ホール

Smart Café

Smart Café in 工学部  
~電電女子座談会~

平成29年度第1回目の「Smart Café in 工学部」は、電気電子システム工学科の「女子座談会」とのジョイント開催です。工学部は女子学生の在籍比率が少なく、先輩後輩の垣根を越えて気軽に学生生活や進路の悩みを相談し、情報交換する機会として開催しました。

多くの女子学生が、幼い頃や学生時代から理系職業に興味を持っており、入学した後に女子学生が少ないことに大変驚いたようです。一方で、今は時代も変わり、女性が理系を目指すことに対する偏見は少なくなっているようです。女子学生が少ないことに対する不安や苦勞は皆に共通する悩みようですが、先輩学生からコミュニケーションのとり方についての具体的なアドバイスや、「女子ひとりの環境が私をたくましくしてくれた。」と、力強い励ましの言葉がありました。



楽しい会話がいつまでも途切れず、参加者からは「先輩達から話を聞けて楽しかった。」「女子学生が今後増えていききっかけになったら嬉しい。」との声がかれました。

日 時：平成29年4月26日(水) 13:00~14:30  
会 場：五福キャンパス 工学部 電気系実験研究棟 3階  
システム制御工学第6研究室  
対 象：工学部 電気電子システム工学科の女子学生  
参加者：16名



## 夏季学童保育及びサマーわくわく教室を開催しました

- 開催日：五福キャンパス 平成29年7月24日(月)～7月28日(金) 5日間  
杉谷キャンパス 平成29年7月31日(月)～8月4日(金) 5日間
- 会場：五福キャンパス 黒田講堂会議室、杉谷キャンパス 災害対策プラザ
- 対象：本学の教職員の子(小学生)

今年も五福キャンパス、杉谷キャンパスで10日間にわたり本学の教職員のお子さん(小学生)を対象に夏季学童保育およびサマーわくわく教室を開催し、45世帯53人の児童が参加しました(のべ197人)。学童保育中、子供たちは集中して勉強したり、保育士さんが用意してくださった催しを楽しんでいました。また、サマーわくわく教室では、本学教員・学生さんが本学ならではのイベントを開催し、子供たちも楽しそうに取り組んでいました。学童保育を利用した教職員からは「子供がとても充実した時間を過ごせました」「学童で友達もでき、喜んでいました」などの感想を数多くいただきました。



②『オリンピックのマークを書こう』  
東川 和夫 先生  
(富山大学名誉教授)



③『ロボット製作教室でものづくり力を高めよう』  
戸田 英樹 先生  
(工学部 電気電子システム工学科 准教授)



④『コンピューターで遊んでみよう(易しいプログラミングの勉強)』  
片岡 弘 先生 / 成行 泰裕 先生  
(人間発達科学部 人間環境システム工学科 教授 / 人間発達科学部 人間環境システム工学科 准教授)



⑤『ミニミニスマイルフェスティバル』  
スマイルフェスティバル有志学生



⑥『ミニミニスマイルフェスティバル』  
スマイルフェスティバル有志学生



⑦『ミニミニスマイルフェスティバル』  
スマイルフェスティバル有志学生

## 研究者データベース ORCID(オーキッド)説明会

- 講師：宮入 暢子 氏  
(Regional Director, Asia Pacific, ORCID Inc.)
- 日時：平成29年5月31日(水) 15:00～16:45
- 会場：五福キャンパス 共通教育棟D11講義室  
杉谷キャンパス 看護学科学研究棟11講義室  
高岡キャンパス H棟 CALL教室
- 対象：本学の教職員
- 参加者：71名

ORCIDとは、世界の研究者に一意の番号を付与し、研究者のプロファイル・研究業績等とともにデータベース化して、学術コミュニティで共有する非営利のプロジェクトです。近年、学術出版界においてその活用が目ざされているORCIDについて、ORCID Inc.からアジア・太平洋地区担当ディレクターをお招きし、学術コミュニケーションにおけるORCIDの果たす役割や活用方法などをご説明いただきました。



## 第3回英語スキルアップ・セミナー 「英語研究プレゼンテーション 実践型ワークショップ」

- 講師：川上 輪子 氏  
(リンクサイエンス代表)
- 日時：平成29年3月1日(水) 13:00～18:20
- 会場：杉谷キャンパス 講義実習棟203号室
- 対象：本学の教員・大学院生
- 参加者：29名

リンクサイエンス代表の川上輪子氏をお迎えし、「英語研究プレゼンテーション 実践型ワークショップ」を開催しました。

海外の聴衆にインパクトを与えるプレゼンテーションとはどういったものなのか、英語圏の聴衆の好みを知ったうえで効果的にアプローチする方法やより自然に聞こえる言い回し、また、わかりやすいスライドの作成方法などを学び、英語によるプレゼンテーションへの理解を深めました。



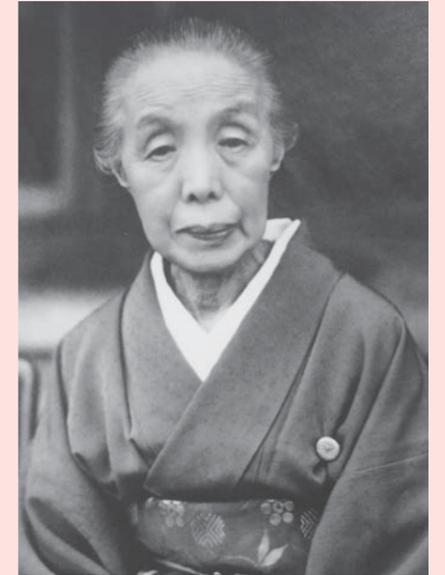
## 女性初の富山市名誉市民 「馬場はる」

馬場はる(1886～1971)は、富山県下新川郡泊町(現朝日町)の旧家小沢家の娘で、15歳のときに北陸屈指の富豪で海運業を営んでいた馬場家に嫁ぎました。夫道久との間に一男三女の子供に恵まれますが、夫は40歳の若さで他界、当時37歳のはるは子供の教育と家業の経営を担うことになります。

富山大学は、馬場はるに二つの恩があります。ひとつ目は、富山大学の前身にあたる旧制富山高等学校の創設にさいして、はるに多額の寄付をしてもらったことです。当時、富山の高等教育機関はわずかしかなかく、進学希望者は他県に行く必要がありました。このため、高等教育機関の建設は富山県民の強い願いでした。はるは、この思いに応えようと、1923年の皇太子(後の昭和天皇)成婚記念を機に富山県に100万円(現在の価値にして数十億円)を寄付します。このお金がかきかけとなって、富山高等学校の設立が議会で通過し、翌年開校に至りました。

もうひとつの恩は、はるにヘルン文庫購入の支援をしてもらったことです。ヘルン文庫とは作家ラフカディオ・ハーン(小泉八雲)の蔵書です。洋書・和漢書あわせて2,433冊とハーンの「神国日本」の手書き原稿1,200枚から構成されています。富山高等学校校長に就任予定だった南日恒太郎は、ハーンの遺族から蔵書を譲り受けて、これを富山高等学校の象徴にしたいと考えました。南日ははるに出資を相談し、はるは開校記念にとこの申し出を快く受けいれました。このヘルン文庫は現在では富山大学に引き継がれ、ハーンのコレクションとして世界に知られています。

このように、はるは私財をなげうって教育事業や公共事業に尽くしたために、1924年に紺綬褒章を受け、後に従六位に叙せられました。また、戦後になると、富山市からその功績を称えられ女性で初めて名誉市民の称号を贈られました。富山大学附属図書館のヘルン文庫にははるの肖像が設置され、いまま教職員と学生を見守ってくれています。



馬場はる子夫人肖像  
小柳津三郎 作  
(昭和29年)

設置場所：  
五福キャンパス  
中央図書館 ヘルン文庫



	知	そ	今
	つ	の	注
	て	意	目
	る	味	の
	？		こ
			と
			ば

## 第10回 ヤングケアラー

「ヤングケアラー(若年介護者)」とは、病気や障害などをもつ両親や祖父母などの家族の介護を行っている10代～20代の若い人達のことを言います。少子高齢化社会になり、子や孫に介護を頼らざるを得ないケースが増加しています。2013年に行った国の調査\*によると、家族の介護を行っている15歳～29歳のヤングケアラーは17万人以上いるとのデータもあります。

(\*総務省「平成24年就業構造基本調査」)

1 キーンコンンカァンコォン  
日君 今日の夕方の授業の後、  
今度の研究発表に向けての  
打ち合わせをやりたいんだけど...  
夕方遅くは  
無理なんだ。今も急いで帰るからね  
いるからまた今度ね。

2 ヤングケアラーって何ですか？  
日君はおじい  
ちゃん介護をしているから  
夕方は無理よ。彼みたいな人のこと  
困ったなあ〜日君がいなくて  
うまくまともならないんだよね。

3 ヤングケアラー!?!  
障害や病気等の家族の介護や  
ケアをしている子供や若者のことを  
そう言うんだって。彼一人親家庭で  
彼が介護をやっているみたい。

4 それは大変ね。  
調整してみよう。  
それは大変ね。  
調整してみよう。  
男女共同参画  
推進室で介護相談をやっ  
ているみたいだから教えて  
あげようかな。  
富山大学男女共同  
参画推進室